

付属資料・目次

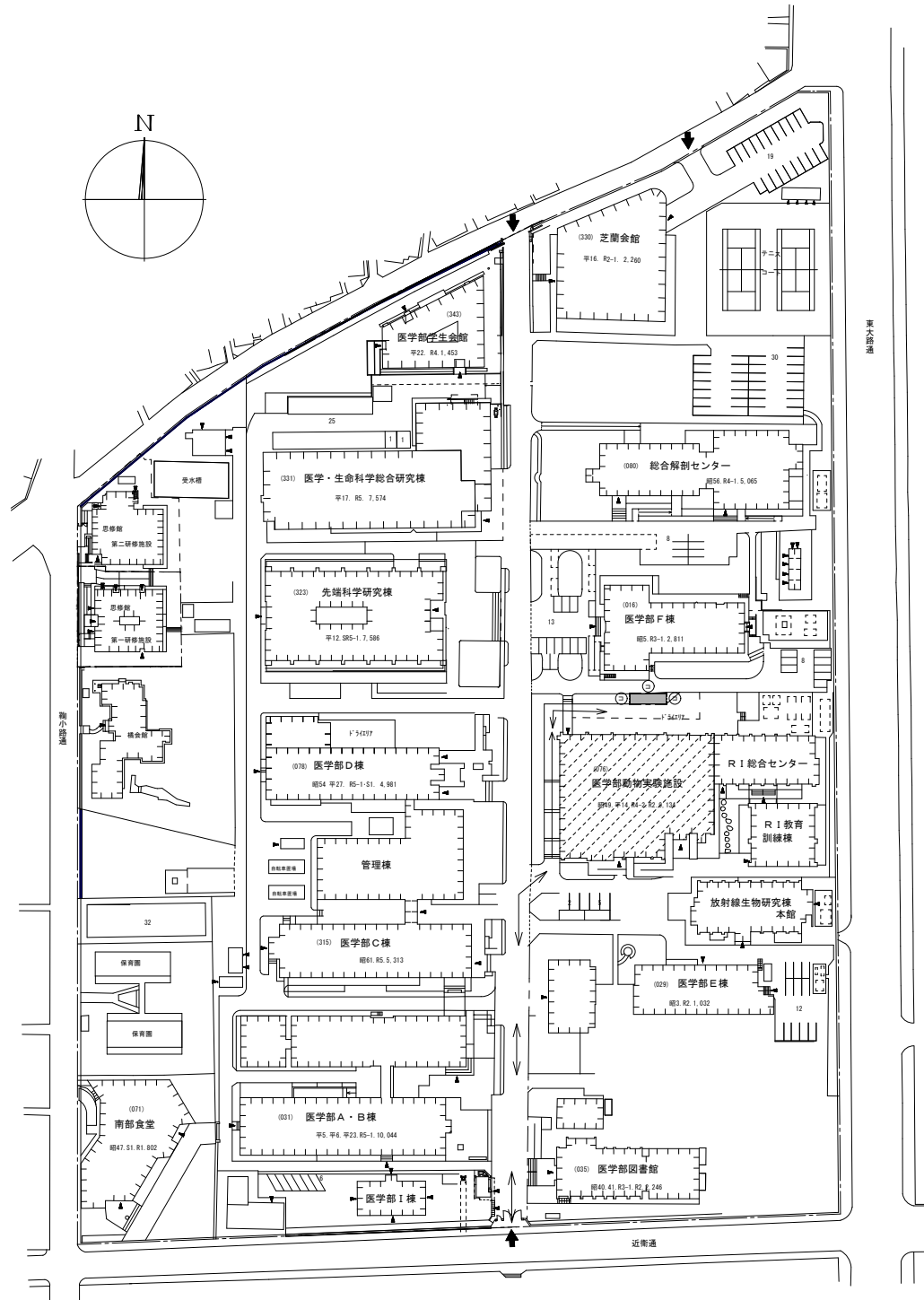
特記仕様書（抜粋）	特 1
案内図・配置図	1
機器表（改修前・改修後）	2
平面図（改修前）	3

機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書

機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書				
Ⅰ．工事概要				
1. 工 事 名	京都大学（南部）医学部動物実験施設空調機（ACU-9,12）更新工事			
2. 工 事 場 所	京都市左京区吉田橋町（京都大学医学部構内）			
3. 完 成 期 限	令和8年　3月　13日（金曜日）			
4. 工 事 の 種 類 規模等	工 事 範 囲 表			
建 物 概 要	棟 名 称	医学部動物実験施設		
	工 種	模様替		
	構 造 ・ 階 数	R 4－2		
	建 築 面 積	(1,534㎡)		
	延 べ 面 積	(9,134 ㎡)		
	改 修 延 べ 面 積			
屋 内 設 備	空 気 調 和 設 備	○		・
	暖 房 設 備	・		・
	換 気 設 備	・		・
	自 動 制 御 設 備	○		・
	衛 生 器 具 設 備	・		・
	給 水 設 備	・		・
	排 水 設 備	・		・
	消 火 設 備	・		・
	給 湯 設 備	・		・
	ガ ス 設 備	・		・
	撤 去 工 事	○		・
屋 外 そ の 他 設 備	空 気 調 和 設 備	・		・
	暖 房 設 備	・		・
	給 水 設 備	・		・
	排 水 設 備	・		・
	消 火 設 備	・		・
	ガ ス 設 備	・		・
撤 去 工 事	・		・	
Ⅱ．一般特記事項				
1. 総 則	(1) この工事の受注者は、国立大学法人京都大学契約事務取扱要領（平成16年4月1日財務担当理事裁定制定）別記第1の工事請負契約基準、現場説明書、特記仕様書、図面、公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版、公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版、公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）令和4年度版、文部科学省機械設備工事標準仕様書（特記基準）令和4年度版、文部科学省機械設備工事標準図（特記基準）平成31年度版、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年度版、公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年度版、公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）令和4年度版、文部科学省電気設備工事標準仕様書（特記基準）令和4年度版、文部科学省電気設備工事標準図（特記基準）令和4年度版及び工事記録写真撮影要領に基づき工事を施工する。			
施 工 条 件	・本工事は、教職員・学生が継続使用しながら行なう居ながら改修であり、教育研究環境への影響に充分配慮すること。また、工事着手前には、建物関係者へ工程計画・仮設計画等、工事着手後においては、毎週の工程計画や騒音・振動等他階への影響作業の有無等について、監督職員を通じて事前に通知すること。 ・騒音・振動の発生する作業は、低騒音・低振動・低粉塵工法を採用すること。 また、当該作業の実施日時は、必ず事前に監督職員や関係者と協議・調整のうえ決定するものであり、土曜・日曜・祝日作業を基本とする。 ・試験日は作業を中止する等、学校行事を配慮して工事計画を立てること。			

現場説明付記事項

- 1 工事施工上の注意事項
- 1) 車両通行経路は、図示の通りとし監督職員と協議の上、誘導員等を配置し、交通整理を行うこと。
工事車両は周辺道路上で違法駐車は行わないようにし、また路上に縦列待機させることも行わないこと。
 - 2) 工事用地は図示の範囲とし、危険防止のため関係者以外の出入ができないようにすること。また、工事関係車両（通勤車両を含む）は工事用地内に駐車することを原則とし、構内の駐車エリア、道路及び空地への駐車は行わないこと。
 - 3) 学校行事・近隣地区行事を考慮して工事計画を立てること。
 - 4) 撤去工事その他で大きな音、振動等が生じる場合は、原則として土曜・日曜・祝日作業を基本とし、あらかじめ監督職員に日時を連絡し、承諾を得て工事を進めること。また、施工中の防音対策を十分に検討し行うこと。
 - 5) 教職員、学生等の通行が頻繁なため、構内車両通行には徐行の徹底等、十分注意するよう指導を行うこと。
 - 6) ~~埋蔵文化財を発見した時は、ただちに工事を中止し、監督職員の指示を受けること。~~
 - 7) ~~工事場所内に火災予防のため適切な数量の消火器を設置するとともに、工事関係者に対し、火気等の取り扱いに十分注意するよう指導を行うこと。~~
 - 8) ~~支障となる地中埋設物を発見した時は、監督職員と協議の上撤去し、適正処分すること。~~
 - 9) 工事用地は、除草等常に良好な環境を保持すると共に工事完成時には現状に復帰して返還すること。
 - 10) 同一構内の他工事の業者と連絡調整を密に行い、安全かつ円滑な工事の実施に努めること。
 - 11) 作業時間は、午前8時から午後6時を原則とすること。
 - 12) 構内における喫煙については、監督職員と協議のうえ、健康増進法（平成十四年法律第百三号）第二十五条の五に基づく受動喫煙対策を講ずること。
- 2 工事中の構内安全対策について
- 工事中の構内安全対策については、下記事項を十分留意した上、具体的な安全対策等を立案し、監督職員と協議の上、承諾を受けるものとする。
- 1) 監督職員と協議の上、構内要所に工事予告板、警戒標識板、交通規制標識板、工事表示板、案内板等を設置し、常に良好な状態に保つこと。
 - 2) ~~掘削時等で危険な状態となる箇所には、安全柵、工事中表示板（点滅灯付）を、夜間は保安灯及び赤色回転灯を設置し、安全な状態を確保すること。~~
 - 3) 構内通行の安全及び騒音防止のため工事用車両は徐行すること。
 - 4) 大型車両の構内通行に際し、地中埋設物、マンホール等は必要に応じ養生を行うこと。
 - 5) 大型車両による作業の場合は必要に応じて交通整理員を追加増員し、誘導・交通整理等により構内の安全確保に努めること。
 - 6) 大型車両の使用は原則として土曜・日曜・祝日とし、あらかじめ監督職員に日時を連絡し、承諾を得ること。
 - 7) ~~仮囲いの設置に伴い、構内道路の視認性が確保できない場合は、常夜灯及びコーン部に透明パネルを設置するなど安全確保に努めること。~~
 - 8) ~~パネルゲートには電子音つき回転灯を設置するなど事故防止に努めること。~~

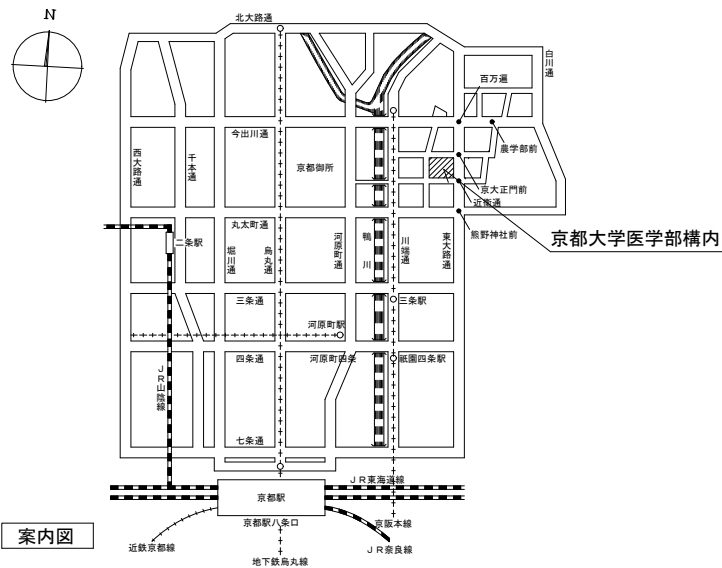


医学部構内配置図 S : 1/1000



凡例

	本工事位置（医学部動物実験施設）
	工事用地
	工事車両用進入経路
	カラーコーン・パー



工事名 京都大学（南部）医学部動物実験施設空調機（ACU-9, 12）更新工事		図面番号 01
図面名称 案内図・配置図	縮尺	

機器リスト(撤去)

記 号	名 称	機 器 仕 様	電 圧 (V)	動 力 (kW)	台 数	設置場所	備 考
ACU-9	空気調和機	水平型 (オールフレッシュタイプ) 冷水コイル+温水コイル			1	4階設備室 (2)	新晃工業㈱
	2F SPFマウス飼育室 (1)	冷却能力 97.3 kW 加熱能力 24.8 kW					
		蒸気加湿 有効加湿量 40.6 kg/h (スチームブレンダー)	3-200	33.4			
		風量 SA 9,620 m³/h 機外制圧 410 Pa	3-200	7.5			
		EA 9,160 m³/h 機外制圧 360 Pa	3-200	5.5			
		室内温湿度 24.0℃ 50% (年間)					
		夏季外気温湿度 35.8℃DB 49.8%					
		冬季外気温湿度 -2.9℃DB 81.6%					
		冷水 279.0 L/min 7℃-12℃ 冷水損失水頭 20.6 kPa					
		温水 71.0 L/min 55℃-50℃ 温水損失水頭 2.0 kPa					
		フィルター組じん (重量法80%) + (NBS65%) + HEPA (DOP99.97%)					
		吸着脱臭フィルター					
		全熱交換器 交換効率 (夏季) 53.2% (冬季) 56.1%					
		空気-空気方式, 水噴霧式, 樹脂製熱交換エレメント					
		外板、ガルバニウム鋼板製					
		スプリング防振架台共・ファンインバーター制御盤組込					
		全熱交換器用給水ユニット 屋内型 噴霧水量 216 L/h	3-200	0.2			
ACU-12	空気調和機	水平型 (オールフレッシュタイプ) 冷水コイル+温水コイル			1	4階設備室 (2)	新晃工業㈱
	3F SPFラット飼育室	冷却能力 126.4 kW 加熱能力 25.5 kW					
		蒸気加湿 有効加湿量 44.6 kg/h (スチームブレンダー)	3-200	33.4			
		風量 SA 11,660 m³/h 機外制圧 370 Pa	3-200	11.0			
		EA 11,140 m³/h 機外制圧 390 Pa	3-200	7.5			
		室内温湿度 24.0℃ (26.0) 50% (年間)					
		夏季外気温湿度 35.8℃DB 49.8%					
		冬季外気温湿度 -2.9℃DB 81.6%					
		冷水 363.0 L/min 7℃-12℃ 冷水損失水頭 48.1 kPa					
		温水 74.0 L/min 55℃-50℃ 温水損失水頭 2.9 kPa					
		フィルター組じん (重量法80%) + (NBS65%) + HEPA (DOP99.97%)					
		吸着脱臭フィルター					
		全熱交換器 交換効率 (夏季) 53.4% (冬季) 56.3%					
		空気-空気方式, 水噴霧式, 樹脂製熱交換エレメント					
		外板、ガルバニウム鋼板製					
		スプリング防振架台共・ファンインバーター制御盤組込					
		全熱交換器用給水ユニット 屋内型 噴霧水量 270 L/h	3-200	0.2			

機器リスト(仮設)

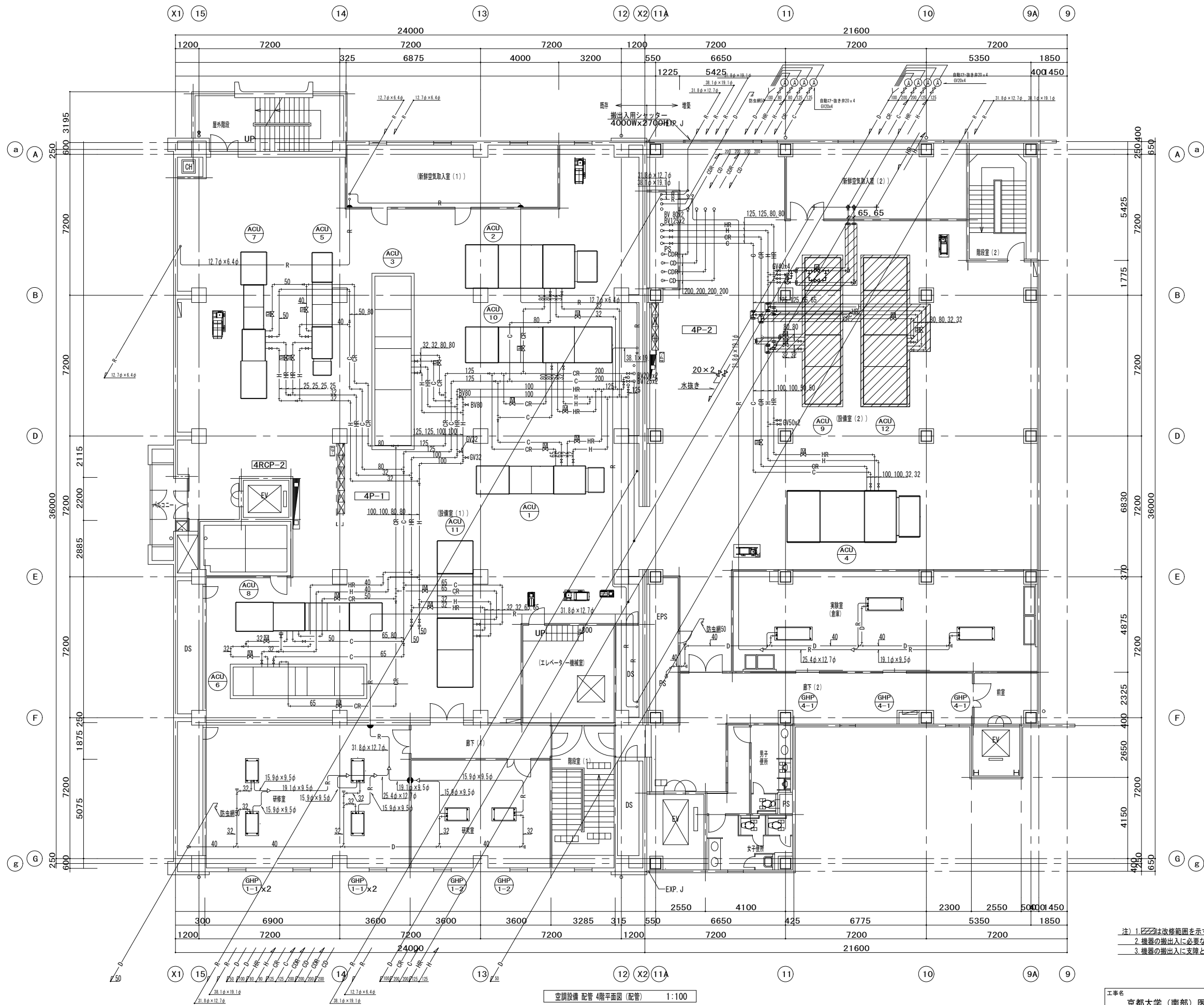
記 号	名 称	機 器 仕 様	電圧 (V)	動力 (kW)	台数	設置場所	備 考
CU-1	仮設コイルユニット	処理風量 15260 m ³ /h			1	4階設備室 (2)	ACU-9、12更新時に利用
	(既存)	ユニット静圧 635 Pa					
		全熱量 165.40 kW					
		温水コイル (冷却コイルを転用)					
		加湿器 滴下浸透気化式	1-200	0.007	1		
		有効加湿量 83.8 kg/h					
		フィルター取替 中性能フィルター56 (JIS65%) 2段×2.5列					
		HEPAフィルター (DOP99.97%) 2段×3列					
SF-1	仮設ファンユニット	ラインファン	3-200	5.6	1	4階設備室 (2)	ACU-9、12更新時に利用
	(既存)	処理風量 15260 m ³ /h					
		静圧 900 Pa					
SF-2	仮設ファンユニット	ラインファン	3-200	5.6	1	4階設備室 (2)	ACU-9、12更新時に利用
	(既存)	処理風量 15260 m ³ /h					
		静圧 900 Pa					
EF-1	仮設ファンユニット	ラインファン	3-200	5.6	1	4階設備室 (2)	ACU-9、12更新時に利用
	(既存)	処理風量 15260 m ³ /h					
		静圧 900 Pa					

機器リスト(改修)

[illegible]

特記事項 1. プレフィルターについては予備フィルター(100%)を見込むこと。

工事名	京都大学（南部）医学部動物実験施設空調機（ACU-9,12）更新工事	図面番号	
図面名称	機器表（改修前・改修後）	縮尺	



- 注) 1. 斜線は改修範囲を示す。
2. 機器の搬出入に必要な足場の組立等は本工事とする。
3. 機器の搬出入に支障となるダクト・配管は取り外し・再取付を行うこと。

空調設備 配管 4階平面図 (配管) 1:100

工事名 京都大学（南部）医学部動物実験施設空調機（ACU-9, 12）更新工事	
図面名称 平面図（改修前）	縮尺 A1 1:100 A3 1:200